

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、「公的な文章」・「フォーマルな文章」・「ビジネスにおける文章（文書）」などである。

よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いている文章である。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、「話し言葉」ではなく、「書き言葉」で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのように受け取られるかは書いた人の責任になるので）のだが、公的な文章を独りよがりの文体で書くとは逆効果になる。

ここでは、公的な文章では書くことを避けるべき「話し言葉」について考えていく。

文章講座①話し言葉と書き言葉

○公的文章で書くと逆効果になってしまう「話し言葉」

() の中に書き言葉を入れてみよう。

(ア) 話し言葉そのもの

やばい↓ ()
 けど↓ ()
 そうゆー ()
 なのだ ()
 いっぱい ()
 ちゃん ()
 とか ()
 おん ()
 だし、 ()
 っていう ()
 どっち ()
 みたい ()
 でも ()
 なぜ ()
 つか ()
 これ ()
 自分的 ()
 なぜ ()
 むずい ()

(イ) 書き言葉が変化したもの

じゃ ()
 ばかり ()
 だけ ()
 わかん ()
 めんど ()
 しか ()

(ウ) くだけた表現のもの

ケータイ ()
 部活 ()
 バスケ ()
 いまいち ()

(エ) カタカナ表記

そんなコト ()
 わかんないケド ()

(オ) 助詞の省略

それで ()
 ケーキ ()

(カ) ら抜き言葉

食べ ()
 見 ()
 寝 ()

(キ) 体言止め

私は ()
 それは ()

(ク) その他
話し言葉ではないが、漢字を使うべきではない表現

試 ()
 試 ()

字が丁寧だと、印象ががらりと変わる例。

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、『公的な文章』・『フォーマルな文章』・『ビジネスにおける文章（文書）』などである。

よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いてある。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、『話し言葉』ではなく、『書き言葉』で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのよう受け取られるかは書いた人の責任になる）のだから、公的な文章を独りよがりの文体で書くとは逆効果になる。

書く文章において、皆さんがこれから学ぶべきことは、『公的な文章』・『フォーマルな文章』・『ビジネスにおける文章（文書）』などである。

よく目にするのが、自分の進路を決める文章を書く場合に、いつも話している言葉そのままを書いたり、仲間同士のメールでのやりとりのような語彙をそのまま書いてある文章である。見ず知らずの大人が読んでも、不快に思わない文章。または、誰が読んでも言いたいことが伝わる文章にするためには、『話し言葉』ではなく、『書き言葉』で書くべきである。

自分の創作作品や、日記などは個性を発揮して自由に書いてもいい（どのよう受け取られるかは書いた人の責任になる）のだから、公的な文章を独りよがりの文体で書くとは逆効果になる。